

科目名称：	社会福祉概論 I	
担当者名：	萩原 園子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
第1に現代の社会福祉について社会保障・社会福祉制度とソーシャルワークを中心に総合的に解説します。第2に国際的政策課題にふれながら福祉政策と関連政策について解説します。第3に社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の体系的学修と基本的用語を説明するなかで、社会福祉の対象認識および援助観を含んだ社会福祉観について学んでいきます。		
授業の達成目標・到達目標		
①現代の社会問題について社会福祉の視点から理解することができる。②社会福祉の担い手と施設・事業の実態、その援助や支援の方法について説明することができる。③福祉政策の概念・理念、その動向と課題について理解することができる。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	70	15		15	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
社会福祉の必要性や専門性について考えながら受講してください。

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
社会福祉と社会問題	現代の社会問題について社会福祉の視点から理解することができる。	現代の社会問題について社会福祉の視点からなんとなく理解することができる。	現代の社会問題については理解しているが、社会福祉の視点まで到達していない。	現代の社会問題・社会福祉のことをまったくわかっていない。
社会福祉の担い手、施設・事業の実態、その援助や支援の方法	社会福祉の担い手と施設・事業の実態、その援助や支援の方法について説明することができる。	社会福祉の担い手と施設・事業の実態、その援助や支援の方法について理解している。	社会福祉の担い手と施設・事業の実態、その援助や支援の方法についてなんとなく理解している。	社会福祉の担い手と施設・事業の実態、その援助や支援の方法について理解できない。
福祉政策の概念・理念、その動向と課題	福祉政策の概念・理念、その動向と課題について理解することができる。	福祉政策の概念・理念、その動向と課題についてなんとなく理解している。	福祉政策の概念・理念については理解しているが、その動向と課題についての理解が不十分である。	福祉政策の概念・理念、その動向と課題についてまったくわかっていない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 第1回は現代の社会福祉①として現代における社会福祉の意味とその担い手について講義します。その他に授業計画説明、および成績評価について説明します。	事前に現代における社会福祉の領域や福祉専門職の意味について考えてください。事後に教科書の該当頁を読んでください。	30分
第2回 第2回は現代の社会福祉②として日本における福祉施設および事業の種別の範囲について講義します。	事前に社会福祉施設・事業の種別、その数がどの程度あるか調べてきてください。事後に配布プリントを確認してください。	60分
第3回 第3回は現代の社会福祉③として社会福祉の対象と政策課題について講義します。	事前に社会福祉の対象や範囲について、複数取り上げてその理由についても考えてください。事後に配布プリントを確認して社会福祉の対象と範囲についてまとめてください。	60分
第4回 第4回は社会福祉の援助・支援①として社会福祉の援助展開について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に援助展開の各段階をまとめてください。	60分
第5回 第5回は社会福祉の援助・支援②として社会福祉の視点と方法について講義します。	事前に教科書の該当頁を読んでください。事後に、社会福祉の視点と方法について要点をまとめてください。	60分
第6回 第6回は福祉政策の構成要素①として相談援助活動と福祉政策の関連性について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読して要点を確認してください。事後に福祉サービスの提供過程と利用過程の相違をまとめてください。	60分
第7回 第7回は福祉政策の構成要素②として福祉サービスの供給と利用について講義します。	事前に教科書の該当頁を読んでください。事後に社会福祉の運営管理部門の機能について要点をまとめてください。	60分
第8回 第8回は社会福祉の制度・政策①として社会保障と社会福祉の関連性について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に社会福祉制度の体系を説明できるようにまとめてください。	60分
第9回 第9回は社会福祉の制度・政策②として社会政策と福祉政策の関連性について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に社会政策と福祉政策の関連性について説明できるようにまとめてください。	60分
第10回 第10回は社会福祉の制度・政策③として福祉政策と関連政策の関係について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に福祉政策と関連政策の関係について説明できるようにまとめてください。	60分
第11回 第11回は社会福祉の制度・政策④として福祉政策の国際比較について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読し関心のある国の福祉を調べてください。事後に福祉国家の類型についてまとめてください。	60分
第12回 第12回は前近代社会と近代社会、そして現代社会における福祉理念と福祉制度について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読して現代における社会福祉の成立について考えてください。事後に現代において社会福祉が成立する意味についてまとめてください。	60分
第13回 第13回は戦後日本と社会福祉政策①として日本の戦後改革と社会福祉について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に公的扶助原則と福祉三法体制についてまとめてください。	60分
第14回 第14回は戦後日本と社会福祉政策②として高度成長と社会福祉について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に福祉六法体制と皆年金・保険体制についてまとめてください。	60分
第15回 第15回は戦後日本と社会福祉政策③として低成長下の社会福祉について講義します。	事前に教科書の該当頁を一読してください。事後に福祉見直し論と日本型福祉社会論についてまとめてください。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、現代社会の抱える問題について幅広く関心をもってニュースや新聞紙上において情報収集しておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト(授業成果カード)、授業への積極的関与、試験の結果等を総合的に評価します。
小テスト(授業成果カード)15%、授業への積極的関与15%

課題に対するフィードバック

小テストは次回の授業の開始時に補足説明および解説します。
なお、質疑等については研究室でも受け付けます。

教科書・参考書

教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『社会福祉の原理と政策』中央法規 2021年
教科書：ミネルヴァ書房編集部『社会福祉小六法2021』ミネルヴァ書房 2021年
教科書の該当ページを開きながら解説する。